

令和 7 年度 保育園における自己点検

集計結果における検討結果の報告

令和 7 年度、保育園における自己点検集計結果を行いました。検討した結果を報告いたします。

1. 会議・研修のあり方

・ 意見を出し合える会議の推進

・単に情報を読み上げるだけの会議から脱却し、子ども達のサークルタイムを活かし全体で意見を出し合い、相談し合える場へと改善されている。

・明確な目標や課題に対して、個々が同じ認識を持てるよう、今後も話し合いの場を大切にしていく。

・ 迅速な周知と計画立案

・周知や計画立案は、スピード感を持って行っていく体制を意識している。

・ 園内外の研修の充実と振り返り

・園内研修から得られる学びが多く、日々の保育に積極的に取り入れている。

・園外研修に参加した際も、会議の中でしっかり報告し、実践につなげている。

・保育者自身の理解不足を補うため、今後は保育の引き出しを広げるような、実践的な園内研修の実施を検討していく。

2. 情報発信

・ 地域や支援センターとの積極的な交流・発信

・地域の方や老人ホームとの触れ合い、他園の同年代の子どもとの交流などを大切にし、感謝の気持ちを育む機会となっている。

・インスタやホームページを活用し日々の姿を発信、ドキュメントを用いて保育の振り返りを行っている。

・小学校とも、情報発信を通じて意見交換ができればと思う。

3. 保護者対応

- 保護者の意見・感想の柔軟な反映と改善

- ・行事後にアンケートを実施し、参加後の感想をもとに次の取り入れ方を検討するなど、可能な限り保護者の方のニーズに寄り添った対応を心掛けている。

4. 保育内容

- 主体性・発達に応じた保育の実践と環境づくり

- ・年齢や発達に応じた活動について、職員間でさらに話し合いを深め、共有につなげていきたいという意識を大切に新しいアイデアを取り入れている。

- ・子どもの主体性を大切にしながら行事を計画し、日々の取り組みと行事をつなげた「つながりのある保育」を目標としている。

- ・製作において、子ども達が自由な発想でモノ作りができるよう、次年度より「製作部屋」の設置を具体化していく予定である。

- ・異年齢児交流について、更に未満児も含めた関わりを積極的に計画に盛り込んでいきたい。

- 安全管理・ヒヤリハットの徹底

- ・安全面における物的・人的環境の整備を大切にしている。

- ・ヒヤリハット事例を全職員で周知し、再発防止や振り返りによる見直しに努めている。また、点検や環境面での気づきに対し、今以上に危機感を持って意見を出し合えるようにしていきたい。

- 職員間の連携・チームワークとサポート

- ・不適切保育や虐待防止に向けて互いに声を掛け合っているほか、一人ひとりの子供たちに寄り添えるよう、職員同士が声を掛け合って助け合える環境を意識しながら保育している。

- ・クラスの枠を超えて他クラスの保育に目を向け、アドバイスや意見交換ができる良好なチームワークが築かれている。